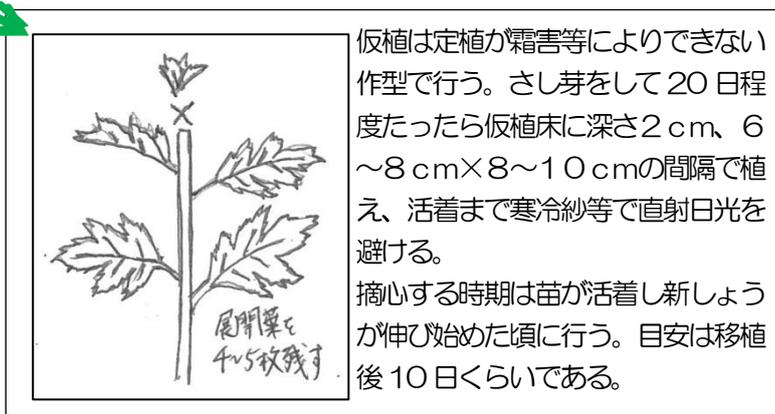
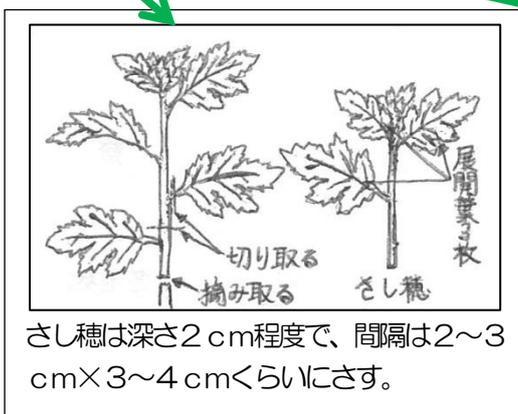


## キクの栽培について

キクは日常の仏花や葬儀用としては1年中需要がありますが、特に物日の盆（8月）、彼岸（3、9月）、正月（12月）に多く必要とされます。今月はキクの栽培についてお知らせします。

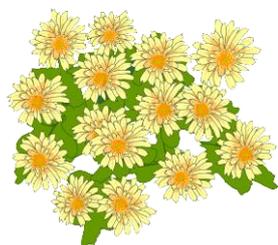
表：小ギク、スプレーギクの作型

作 型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
小ギク	さし芽苗	8月出荷			∟	△	△	⊠	⊙	—	—	—	—	
		9月出荷					∟	⊙	⊙	⊠	—	—	—	
		10月出荷						∟	⊙	⊙	⊠	—	—	
	秋定植	8月出荷											⊙	—
		9,10月出荷											⊙	—
スプレーギク	露地・雨よけ	8月出荷				∟	⊙	⊠	—	—	—	—	—	
		9月出荷					∟	⊙	⊠	—	—	—	—	
		∟	△	⊠	⊙	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	☂	
		さし芽	仮植	摘心	定植	雨よけ開始	雨よけ終了	苗床期間	本ほ期間					



### ○出荷時期を考えて品種を選定しましょう！

キクには作型によって栽培に適した品種がそれぞれ異なります。例えば、8月出荷なら夏秋ギクの中生種、9月出荷なら晩生種が適しています。**したがって、8月に出荷しようとして晩生種を栽培しても8月には花が咲きませんし、反対に9月出荷のために早生種を栽培しても丈が伸びず良い花は作れません。**まず自分で何月に出荷するか計画を立てて、栽培に適した品種を選定するようにしましょう。



また、これから新しくキクを栽培する人は、さし穂が農協等で販売していますのでそれを購入して栽培し、2年目からはその花を母株として用いることになります。母株の管理も忘れずに行うようにしましょう。

## ハウレンソウの作型と品種

ハウレンソウの原産地は中央アジアとされ、生育適温は、15～20℃であり冷涼な気候を好みます。品種の基本となるのは東洋種と西洋種です。それぞれに特徴があり、現在現在では東洋種と西洋種の両者を交配させた中間種主流となっています。県内における作型と品種は以下のとおりです。

作 型	作 期		適 品 種
	播種機	収穫期	
春まき	3上～5上	5上～6中	オラクル・勇太郎・アクテイオン・ブライトン
初夏まき	5中～7上	6下～7下	アクティブ・晩抽サンホープ・プリウスセブン・トリトン パシオン・ブライトン・サンホープセブン・イーハセブン
夏まき	7上～8中	7下～9下	アクティブ・晩抽サンホープ・プリウスセブン・トリトン パシオン・ブライトン・サンホープセブン・イーハセブン
秋まき	8中～9中	9下～11下	ファイリング125・ピリーブ・ハンター

※平成25年度長野県野菜基本計画より引用 ※近在の種苗店等で扱っていない品種もあります。

## おいしい果物（りんご編）

上田地域は、皆さんがご存じの通り晴天率が高いので、太陽の光を「これまでも」と浴びておいしいりんごが作られます。あさつゆの出荷者の皆さんから購入者のりんごの購入のポイントは、生産者の氏名はもとより、「手で持ったときしっかりとした重みがある」「軽く指でたたくと、カンカンと澄んだ音がする」「りんごそのものがふっくらしていて、青みがやや薄くなったもの」などがありますが、品種によって差があります。出荷時には、購入者に「家のおいしいりんごを食べてほしい」という気持ちでお願いいたします。りんごの出荷時は、年の気象条件に左右されますが、以下を目安にしてください。

品種	9月	10月	11月	12月
秋映		←→		
シナノスイート		←→		
シナノゴールド			←→	
ふじ			←→	



※「上田の農産物」旬のカレンダーより引用

## 農産物加工品栽培コーナー（ラッキョウ編）

農産物加工施設の竣工に伴い、今後農作物の加工に適する農作物の栽培について紹介いたします。

第1回は、ラッキョウです。播種の時期は過ぎていますが、来年チャレンジしてください。

ラッキョウは、ユリ科の野菜で中国が原産と言われています。やせ地でも十分育つので球根で植えておき生育中に数回の追肥で生育します。

通常は8月下旬から9月上旬に植え付けると秋に生長し、翌年6月には収穫できます。来年の植え付け時期には詳細な栽培方法を掲載する予定です。

### あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

E-mail：asatsuyu.55@ued.janis.or.jp

### 技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（近藤・岡崎）

電話番号：0268-25-7156（直通）